



# 1 から 50

年齢：8才から / 人数：3～5人 / 時間：約20分

<セット内容>



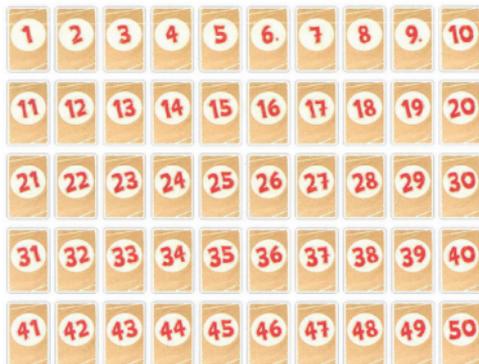
カード50枚（1から50まで各1枚）

## ※ゲームの目的※

出題者が1から50までの数字の中から好きな数字を1つ決め、それ以外のプレイヤーがその数字を当てていくゲームです。見事当てることができたら、そのカードがもらえ、いち早く3枚のカードを集めたプレイヤーの勝ち！

## ※ゲームの準備※

まず、紙と鉛筆を用意します。次に50枚のカードを図のように5列に10枚ずつ並べて準備完了！



### ※親御さんへ※

子どもたちが数字に親しみやすいようにカードの裏に描かれた質問の意味を説明してあげてください。

## ※遊び方※

### ☆3から5人用ルール☆

出題者を1人決めます。（もし大人の人がいれば大人の中から決めてあげましょう）次に出題者は1から50の中で好きな数字を選び、みんなに見られないように紙に書きとめ、ふせておきます。

出題者の左隣のプレイヤーから始めます。どれか好きなカードを1枚選び、出題者に当たっているかを聞きます。それが探しているカードではなかったらカードを裏返し、そこに描かれた質問を出題者に問いかけます。そして出題者は「はい」か「いいえ」で答えます。そして、時計回りに次のプレイヤーの順番になります。こうしてだんだんと探している数字が絞られてきます。

### ※注意※

1度めくったカードは1ラウンドが終わるまではそのままにしておきます。

### ・カードの裏に描かれた質問（代表的なもの）



それは29より大きい？



その数は奇数？



その数は2けた？



その数は31～40の間にある？



それは24より小さい？



その数は偶数？



その数は1けた？



その数は3がつく？

## ※次のラウンドとゲーム終了※

プレイヤーが数字を当てることができるまでこのラウンドは続き、誰かが出題者の選んだ数字を当てたら、当てたプレイヤーはそのカードがもらえます。出題者を左隣のプレイヤーと交代して次のラウンドです。

### ※注意※

前のラウンドで正解したプレイヤーがもらったカードの場所は空けておきます。次の出題者はそのカード以外の中から数字を選びます。

こうして進めていき、いち早くカードを3枚、集めたプレイヤーの勝ちです。

## ☆2人用ルール☆

ゲームの進め方は同じですが、1ラウンドで質問できる回数が10回までになります。ご褒美にもらえるカードの数も5回目までに当てることができたら2枚、6～10回目までに当てると1枚。というふうになります。ラウンド毎に出題者を交代して、先に5枚、集めたプレイヤーの勝ちです。